○議長（吉田敏郎）

日程第2 議案第49号 財産の取得について（追認）（開成町防災ラジオ購入事業）を議題とします。

提案理由を町長に求めます。

町長。

○町長（府川裕一）

提案理由に先立ちまして、議案第49号 財産の取得について（追認）（開成町防災ラジオ購入事業）から議案第51号 財産の取得について（追認）（開成町新庁舎議場什器・音響システム購入事業）までの追認の3議案につきまして、経緯を説明をさせていただきますとともに、おわびを申し上げます。

現在進めております新庁舎建設事業に伴う備品調達に関して、その入札執行手続について確認をしたところ、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の解釈に誤認があることが判明をいたしました。財産の取得のうち、物品の調達については予定価格で700万円以上となる契約について、議決要件に該当することとされていますが、この700万円の基準について、単品価格で超える場合であると認識していました。参考図書等で確認したところ、単品価格ではなく、契約総額で超える場合であることを確認をいたしました。これまでに締結した契約を再確認しましたところ、本来、議会での議決を要する契約であったにも関わらず、議会の議決を得ないまま契約している案件が3件ございました。議決事件として指定されている案件について議案上程をしてしまうという大変重大な過ちであり、改めて議会議員の皆様並びに町民の皆様に対して深くおわび申しあげる次第であります。本当に申しわけございませんでした。

こうした議決の状況につきまして、先例等を調査しましたところ、判例や他の自治体の行政実例では、議決を要する契約について、議決を得ずに契約した場合、当該契約は無効であるが、その無効は確定的なものではなく、事後的に議会の追認議決がなされれば、さかのぼってということとなり、それに伴い代金支払も遡って適法になるとされていることを確認をいたしました。

この例により、未議決となっております3件の契約につきまして、今回、追認の議案として提出させていただきましたので、御審議の上、議会の議決をお願いするものであります。

なお、再発防止を図るため、今回誤認していた関係条文等については、職員に周知し徹底を図りました。また、この件を契機といたしまして、今後慎重に法令解釈に当たるなど、さらなる業務改善に努めてまいります。

それでは議案第49号の提案理由について申し上げます。

防災行政無線の難聴対策のための防災ラジオの取得について、平成25年6月20日に遡って有効としたいので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案をいたします。よろしく願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

ただいま町長のほうから提案理由を述べていただきました。

財産の取得についての3件の追認議案が提出されておりますけれども、今後、再発防止に努められたい、一言申しあげたいと思います。なお、議会としましても、議員のさらなる資質の向上のために、しっかりと取り組んでいくつもりでおります。

次に、細部説明を担当課長に求めます。

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

では、議案を朗読させていただきます。

議案第49号 財産の取得について（追認）。

次のとおり、財産を取得することについて追認の議決を求める。

1、名称、平成25年度開成町防災ラジオ購入事業。

2、財産の種類、動産（物品）。

3、数量、防災ラジオ1千台。

4、契約の方法、随意契約。

5、契約の金額、一金861万円、うち取引にかかる消費税額及び地方消費税額41万円。

6、契約の相手方、神奈川県厚木市旭町5-41-20、三愛電子工業株式会社厚木営業所営業所長、村山昭信。

7、納入期限、平成25年8月30日。

令和元年11月5日提出、開成町長、府川裕一。

1枚おめぐりいただきまして、参考資料を御覧ください。

1、事業名は、平成25年度開成町防災ラジオ購入事業です。

2、入札結果でございます。こちらにつきましては予定価格860万円のところ、三愛電子工業株式会社厚木営業所が、820万円で落札をしたものでございます。

3としまして、購入品一覧でございます。品名としては、防災ラジオ。数量は1千台となっております。

説明は以上となります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

説明が終わりましたので質疑に入ります。質疑をどうぞ。

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

武井です。あの今、説明がありましたが、財産を取得する地方自治法、700万以上というのは、今回、平成25年からの3件出てきたということなのですが、この法律が定められて、開成町で実際使っているのはいつからなののでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

行政推進部長。

○行政推進部長（秋谷 勉）

済みません。ちょっと手元にそういった資料を持っていませんので、法律ができて

から、その条文ができて以降は、基本的にはその条文に従って対応しているということでございます。

なお、今回3件調べましたけれども、そのほぼ、9年前、10年前、平成21年に、南小学校の建設に当たって、備品について、総額でももちろん700万円を越えていましたので、その時点では、議決案件として提案をしてございました。議決を受けてございます。その後、調べましたところ、この3件が対象となったということでございますので、それまでは正しく運用されていたのであろうというふうに解釈してございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

武井です。この法律、多分昭和30年代ぐらいからある法律かと思うのですが、という今の部長のお話ですと、南小学校の開設するときのいろいろな資材を買うまでは、このとおり運用されていったであろうと、そこから約11年、12年という中で、この3件ぐらいが出てきたということですね。

そうすると、今までできていたものが、どうしてその10年ぐらいでできなくなってしまったのでしょうか、という疑問はすごく残るのですが、質問の回数も限られてくると思いますので、当然、起案されてから、いろいろな管理職の方々が判こを押されて、決裁されるわけですよ。その決裁というのは、例えば、700万超えとかですと、幾つぐらい押されるのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

行政推進部長。

○行政推進部長（秋谷 勉）

済みません。ちょっと数えますね。担当の中で、課の中で、ほかの者が、その担当者以外の者が見なかったというか、担当者からすぐ上席に上がったとすると、6人ですね。6個の判こが押されるということでございます。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

そうすると、通常6個ぐらいの判こが、記載されてから押されると。その方々がその案件に対して、きちんと確認をした上で、最後決裁されていくということが、昭和30年代できて、40年間ぐらいはできていたけれども、この10年間でそこが欠如された、ちょっと弱くなったということですよ。今までできていたことが、それだけの方が確認をしながら。

今回は、三つ目の議案の額が大きかったので、いろいろな確認になったのかなというふうに推測はされるのですけれども、やはりそうなりますと、議会に上げるかどうかという案件というのは、何となく基本的なことなのかなと思ひまして。この購入一

一つについては、正直疑問は全くありません。ただ、その手続がそれだけ10年間不備があったということに対して、かなり疑問を感じるころではあります。ぜひ今後は、そういったところも改善していただきたいと思います。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

ほかに質疑ございませんか。

5番、茅沼議員。

○5番（茅沼隆文）

5番、茅沼です。先ほどの行政推進部長の説明ですと、21年の南小学校の時にはちゃんとできていた。以降ちょっと失念したということなので、多分、業務手順のマニュアルができてないのではないかと思いますよね。これからもこういうことが発生する可能性が考えられる。人がやる仕事ですから、どこかに抜けがある、ちょっとしたことで失念するということもあり得るので、そういうふうなことをきちっと防止するためにも、業務手順のマニュアル化というのが必要だろうと思うのですよ。いろいろな業務、役場行政がやっているのは、複雑多岐にわたっているの、一つ一つにマニュアル化していくというのは、かなり大変な作業というのは、重々承知しているところだけれど、こういうふうな議会に関するものについては、特にしっかりとマニュアルをつくっていかないと、人は変わっていくわけですから、変わっていきながらも、法律もたまには変わるけれど、その法律に従って動いているわけだから、そういうふうなことを、どういうふうにしたらいいのかということ、きっちりとマニュアル化していただきたい。そういうふうなことによって、これからそういうふうなことが再発しないように、職員一同、我々議会もそうですけれど、しっかりと気をつけていただきたいというふうに希望いたします。このマニュアル化、マニュアルをつくることについての、前向きな答弁をもらえるか、お願いします。

○議長（吉田敏郎）

行政推進部長。

○行政推進部長（秋谷 勉）

今、マニュアル化というお話ですが、もちろんマニュアルに近い、契約に関してはフローチャートというものはつくってございます。ただ、そこに記入されているのが700万円以上ということだけで、総額でとか、単品価格ではないよということは書いていなかったの、失念してしまったという部分がございます。その辺も含めまして、フローチャートなり、マニュアルをしっかりとつくっていきたいと考えてございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。ほかに質疑ございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

ないようですので、続いて討論を行います。

討論のある方、いらっしゃいますか。

(「なし」という者多数)

○議長(吉田敏郎)

討論はないようですので、採決を行います。

議案第49号 財産の取得について(追認)(開成町防災ラジオ購入事業)、原案に賛成の方の起立を求めます。

(起立多数)

○議長(吉田敏郎)

お座りください。起立多数によって、可決されました。